

# 第2期香南市産業振興計画 数値目標及びKPI評価書 (令和2年度～令和5年度)

※4年間の評価

・ 数値目標(P)に対する客観的評価の方法	:	1	ページ
・ 全部会の評価一覧	:	2	ページ
・ 農業分野	:	3 ～ 7	ページ
・ 林業分野	:	8 ～ 9	ページ
・ 水産業分野	:	10 ～ 12	ページ
・ 商業分野	:	13 ～ 16	ページ
・ 工業分野	:	17 ～ 19	ページ
・ 観光分野	:	20 ～ 23	ページ

## 数値目標（P）に対する客観的評価の方法

達成状況を客観的に評価できる目標について、以下の4段階評価を実施。

区分	評価基準	
A	R2年度からR5年度 までの4年間の数値 目標と実績値を比べ て、数値を改善もし くは維持できたも の、又は状況を改善 できたもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数値目標を達成したもの → 達成率 100%以上</li> <li>・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標を達成したもの</li> </ul>
B		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数値目標をほぼ達成したもの → 達成率 60%以上100%未満</li> <li>・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標をほぼ達成したもの</li> </ul>
C		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数値目標の達成にむけて十分な進展が見られなかったもの → 達成率 60%未満</li> <li>・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標を達成できなかったもの 又は、進展・改善が見られなかったもの</li> </ul>
-		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度の到達目標値が「0」、又は、未着手のため 達成状況が図れないもの</li> </ul>

◆ 第2期香南市産業振興計画 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧(R2-R5)

※1  
・精査目標値 R2-R5の累積目標値  
・精査実績値 R2-R5の累積実績値

・精査目標値 R2-R5の累積目標値  
・精査実績値 R2-R5の累積実績値

【農業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	精査値 ※1	4年間の達成 (達成度合)	備 考【数値の根拠等】
新規就農者数(人/年)	目標値	10	10	10	10	10	40	B	高知県中央東農業振興センターが毎年公表する 新規就農者数(前年度実績)
	実績値	10	7	11	8		36		
	評 価	A	B	A	B			90%	
【林業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	精査値 ※1	4年間の達成 (達成度合)	備 考【数値の根拠等】
間伐面積(ha)	目標値	25	40	50	65	51	180	B	緊急間伐総合支援事業と森林管理制度間伐 委託業務の合計値 ※R3年度から上方修正 R3: 30 ▷ 40 / R4: 35 ▷ 40 / 合計: 185 ▷ 200 ※R4年度から再度上方修正 R4: 40 ▷ 50 / R5: 45 ▷ 65 / R6: 50 ▷ 51 合計: 200 ▷ 231
	実績値	25.4	39.5	35.9	29.2		130		
	評 価	A	B	B	C			72%	
【水産業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	精査値 ※1	4年間の達成 (達成度合)	備 考【数値の根拠等】
沿岸漁業総生産額 (百万円/年)	目標値	285	290	295	300	305	1,170	B	高知県漁協(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げ データに反映されない法人経営体の生産額
	実績値	290	254	253	241		1,038		
	評 価	A	B	B	B			89%	
【商業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	精査値 ※1	4年間の達成 (達成度合)	備 考【数値の根拠等】
商業者数 (事業所/年)	目標値	813	773	768	763	758	763	A	香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準 産業分類(大分類)のF~O・Q・Rに分類される事業 所数 ※R3年度から再設定 R3: 814 ▷ 773 / R4: 815 ▷ 768 / R5: 816 ▷ 763 R6: 817 ▷ 758 最終: 817 ▷ 758
	実績値	778	777	768	770		770		
	評 価	－	A	A	A			101%	
新規事務系企業数 (企業/年)	目標値	2	2	2	2	2	8	C	香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用する ことを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務 系企業数
	実績値	1	0	1	1		3		
	評 価	C	C	C	C			38%	
【工業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	精査値 ※1	4年間の達成 (達成度合)	備 考【数値の根拠等】
製造品出荷額 (億円/年)	目標値	360	380	400	420	440	1,140	B	工業統計調査 (調査年は前年度の製造品出荷額) ※R5年度の製造品出荷額は、公表されていない ことから、評価は示していない。(3年間の評価)
	実績値	344	380	295	－		1,019		
	評 価	B	A	B	－			89%	
新規雇用者数 (人/年)	目標値	5	8	19	16	15	48	A	市内立地企業に新たに雇用された市在住の人数 ※立地企業の事業計画に基づく予定雇用者数の内、現在雇 用している方を差し引いた人数の半数以上が地元雇用者と仮 定し、地元雇用者数の70%を見込んだもの。 ※R2～R4年度の実績に齟齬があり修正。 R2: 20 ▷ 21 R3: 23 ▷ 29 R4: 14 ▷ 17
	実績値	21	29	17	11		78		
	評 価	A	A	B	B			163%	
【観光分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	精査値 ※1	4年間の達成 (達成度合)	備 考【数値の根拠等】
観光施設入込客数 (万人)	目標値	107	110	114	117	121	448	B	観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する 下記対象施設の入込客数。 (暦年 1~12月の合計) 【対象10施設】 ①県立のいち動物公園 ②月見山子どもの森 ③ヤ・シィパーク ④絵金蔵 ⑤天然色市場 ⑥やすらぎ市 ⑦あぐりのさと ⑧黒潮温泉 ⑨創造広場「アクトランド」 ⑩土佐カントリークラブ
	実績値	90.7	96.2	102.2	101.8		390.9		
	評 価	B	B	B	B			87%	

## ◆ 第2期香南市産業振興計画 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧(R2-R5)

## 【農業分野】

数値目標	年度	基準値 (R元年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	精査値 ※1	4年間の達成 (達成度合)	備 考
新規就農者数 (人)	目標値	15	10	10	10	10	10	40	B	高知県中央東農業振興センターが毎年公表する新規就農者数（前年度実績） ※1 ・精査目標値 R2-R5の累積目標値 ・精査実績値 R2-R5の累積実績値
	実績値	9	10	7	11	8		36		
	達成 (評価)	B	A	B	A	B				
									90%	

## ■取り組みの内容について

<p>【4年間の総評】</p> <p>4年間の新規就農者数の実績36人と目標40人を下回りB評価とした。この実績値は新規参入と親元就農の合計数であり、内訳では毎年ほぼ偏りもない状況。また、本指標には含まれていないが、雇用就農も毎年1人～2人前後あり、幅広いケースで就農されている。この実績値は近隣市町村と比較しても大きく上回っており、就農相談件数も県内で上位の件数。各種就農相談会等に参加し本市のPRを行っていることから、広範囲にわたる優良農地や利便性の良い住環境など本市の恵まれた立地条件等が実績にも繋がっていると思われる。また、新規就農者に対しては関係機関が連携を図り農地確保や営農指導、制度活用等で幅広くサポートしている。資材等の高騰により農業を取り巻く環境は年々厳しさを増し、施設園芸が盛んな本市ではその傾向はより顕著であると言えるが、新規参入者には本市が整備する実践型研修ハウスの活用を促進し、親元就農者には、国県事業の要件に満たない者を市単独補助金により支援するなど、本市独自の取り組みも新規就農者の確保に貢献している。</p> <p>品目別では日本一の生産量を誇るとうもろこしの就農者数がほぼ半数を占めており、次いで山北みかんとなっており、本市を代表する品目で新規就農者を確保しており、高齢化が進む産地において耕作放棄地の抑制、生産量の維持拡大に寄与されている。</p>
--

戦略の柱

◆取り組みの柱

年度

基準値  
(H30年度末)

R2

R3

R4

R5

計

4年間の達成  
(達成度合)

【4年間の取り組み内容】(D)

事業名称

目標値

実績値

○具体的な取組 (P)

A/B/C

担い手確保に向けた取り組み

年度

基準値

R2

R3

R4

R5

計(C)

4年間の達成  
(達成度合)

【4年間の取り組み内容】(D)

1. 新規就農者総合対策事業  
【補助交付人数(人)】

目標値

－

1

1

1

1

4

A

(R2) 農業次世代人材投資事業(準備型)  
(R3) 農業次世代人材投資事業(準備型)  
(R4) 就農準備資金  
(R5) 就農準備資金

実績値

－

0

2

2

0

4

達成(評価)  
(C)

－

C

A

A

C

100%

【4年間の取組精査】(第2期精査)

精査  
(C)

本事業は、就農前の研修実施に係る国費事業であり、就農に向けて適切かつ十分な研修を行うためにも優先的に案内を行ってきた。毎年多くの就農相談がある中で、家庭の事情や希望する品目、就農形態等の理由などにより本事業を活用できるかどうか分かれる他、研修受入農家が見つからなければ活用できないため、実績値に明確な傾向等は見当たらないが、引き続き関係機関とも連携強化を図り、本市の農業のPRと就農相談への対応の中で事業活用の案内を行う必要がある。

年度

基準値

R2

R3

R4

R5

計(C)

4年間の達成  
(達成度合)

【4年間の取り組み内容】(D)

2. 雇用就農資金事業  
【補助交付人数(人)】

目標値

－

1

1

1

1

4

C

(R2) 農の雇用事業  
(R3) 農の雇用事業  
(R4) 雇用就農資金事業  
(R5) 雇用就農資金事業

実績値

－

0

0

1

1

2

達成(評価)  
(C)

－

C

C

A

A

50%

【4年間の取組精査】(第2期精査)

精査  
(C)

本事業は、上記1の事業に該当しなかった場合の受け皿のような位置付けとなっている。研修生にとっては、雇用されることにより給与収入を得ながら実践的な研修を受けることができるメリットがあるが、受入農家にとっては(本事業による補助があることを差し引いても)事業活用に係る各種手続き、報告等や研修指導を行うこと自体の負担に加え、人件費が発生するという経済的な負担もある。そのため、研修実施に対する第2、第3の選択肢として案内及び活用をしていくこととなる。

年度

基準値

R2

R3

R4

R5

計(C)

4年間の達成  
(達成度合)

【4年間の取り組み内容】(D)

3-1. 担い手支援事業  
(専業農家育成支援区分)  
【補助交付人数(人)】

目標値

4

4

4

4

4

16

C

(R2) 担い手支援事業(専業農家育成支援区分)  
(R3) 担い手支援事業(専業農家育成支援区分)  
(R4) 担い手支援事業(青年農業者支援区分)  
(R5) 担い手支援事業(青年農業者支援区分)

実績値

4

0

2

2

3

7

達成(評価)  
(C)

A

C

C

C

B

44%

【4年間の取組精査】(第2期精査)

精査  
(C)

本事業は、上記1・2の事業活用の際に補助金の上乗せができる県事業であるため、本事業のみの案内や活用は無し。(制度的には単独で活用することもできないことはないが、基本的には国費への上乗せ事業)  
※国事業とは活用できる年数に差がある場合もあり、本指標の上では上記1・2の合計値にはなっていない。

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値									
担い手確保に向けた取り組み			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	3-2. 担い手支援事業 (後継者育成支援区分) 【補助交付人数(人)】	目標値	3	3	3	3	3	12	C	親元就農の希望者に対し、四万十町の農業担い手育成センターでの基礎研修を案内し、受講が可能な方に対し事業実施してきた。	
	(R2) 担い手支援事業 (後継者育成支援区分) (R3) 担い手支援事業 (後継者育成支援区分) (R4) 担い手支援事業 (後継者育成支援区分) (R5) 担い手支援事業 (後継者育成支援区分)	実績値	0	2	1	0	1	4			
		達成(評価) (G)	C	B	C	C	C				33%
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 親元就農の希望者に対して案内を行う事業であるが、四万十町の農業担い手育成センターで最低3か月間の研修を行う必要があり、すでに子どもいる家庭や、親の経営(農作業)の労働力として欠かせない人員になっている場合などはこの研修が実施できず、補助対象外となってしまう。そういった理由から、毎年多くの親元就農の相談がある中で、毎年1〜2人しか事業活用に至っていない。								
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	4. 新規就農者総合対策事業 (経営開始資金) 【補助金の新規交付人数(人)】	目標値	10	4	4	4	4	16	B	一定の研修を受けている方に対し、補助金の案内を行い、就農初期の不安定な経営に対するサポートを行った。	
	(R2) 農業次世代人材投資事業(開始型) (R3) 農業次世代人材投資事業(開始型) (R4) 新規就農者総合対策事業(経営開始資金) (R5) 新規就農者総合対策事業(経営開始資金)	実績値	13	6	2	4	2	14			
		達成(評価) (G)	A	A	C	A	C				88%
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 本事業は、研修を受けて一定の知識・技術を身に付けた方に対し、就農後の経営安定、または当地への定着を図るために実施している。新規就農者への支援の中では、研修実施に係る事業1(就農準備資金)と就農時に係る本事業の2本柱の取組と言える。離農を防ぐため、一定の知識・技術を習得した上での事業活用が要件となっており、研修受講歴の有無によって活用可否が分かれるが、地域農業の将来的な担い手を育成するという観点からも、就農後の計画等も含め慎重に精査した上での交付につなげていく。								
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	5. 農業後継者推進事業 【補助金の新規交付人数(人)】	目標値	15	6	6	6	6	24	C	事業3-2の活用ができない(農業担い手育成センターでの研修が受講できない)場合に、本事業の活用を案内し、活用している。	
	(R2) 農業後継者推進事業 (R3) 農業後継者推進事業 (R4) 農業後継者推進事業 (R5) 農業後継者推進事業	実績値	15	1	5	4	4	14			
		達成(評価)	A	C	B	B	B				58%
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 県内でも数少ない市単独での親元就農に係る支援制度であり、事業3-2(県事業)が活用できない場合の受け皿として実施している。親元就農は、農地確保や経営基盤があるといったことから、非農家出身の方よりも就農しやすい環境にあるため、祖父母や両親からの相談も含め相談件数も多い反面、新規就農者自身が家族労働力としての大きな役割を担っている場合も多く長期間の研修が受講しづらい状況にある。そのため国や県の事業活用が難しく、本事業が有効な支援策として活用されている。								
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	6. モニターツアー事業 【参加者人数(人)】	目標値	—	15	20	20	20	0	#DIV/0!	R2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中断し、R5年度に再開せずに事業中止とした。	
	(R2) モニターツアー事業 (R3) モニターツアー事業 (R4) モニターツアー事業	実績値	—	—	—	—	—	0			
		達成(評価)	—	—	—	—	—				
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 農作業体験を通じて就農をより具体的に考えてもらう機会とするために第1期から事業実施してきたが、農業経営にとって厳しい状況が続く中で、受入農家の負担も大きく、また参加者についても就農につながるような方の参加がないことから事業について見直しを行い、R5年度から中止とした。								

戦略の柱

◆取り組みの柱

年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
事業名称	目標値						A/B/C	
○具体的な取組 (P)	実績値							

◆経営改善・農地維持に向けた取り組み

	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
1. 園芸用ハウス整備事業 【整備件数 (件)】  (R2) 園芸用ハウス整備事業 (R3) 園芸用ハウス整備事業 (R4) 園芸用ハウス整備事業 (R5) 園芸用ハウス整備事業	目標値	19	13	13	13	13	52	B	
	実績値	13	6	11	8	7	32		
	達成 (評価)	B	C	B	B	C		62%	
	精査 (C)	【4年間の取組精査】 (第2期精査) 新規就農者、規模拡大等を行う園芸農家が園芸用ハウス整備事業を活用することにより、香南市主要作物の耕作面積が増えることで、農業生産性及び農業所得の向上に寄与してきた。 今後も香南市の園芸産地の維持・発展につながる事業であることから、今後も引き続き産業振興計画に位置づけが必要である。							
	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
2. 園芸用ハウス等リノベーション事業 【活用施設件数 (件)】  (R2) 環境制御技術高度化事業 (R3) 環境制御技術高度化事業 (R4) 環境制御技術高度化事業 (R5) 園芸用ハウス等リノベーション事業	目標値	19	25	25	25	25	100	B	
	実績値	43	21	21	10	24	76		
	達成 (評価)	A	B	B	C	B		76%	
	精査 (C)	【4年間の取組精査】 (第2期精査) 環境測定装置や炭酸ガス発生機などの施設園芸に係る機器導入を推進し、省力化や収益性の向上に効果のある取り組みが実施できた。今後も一定のニーズはあると予想されるものの、導入が進んでいることから、これまでのような安定した活用件数は難しいと考えられる。また、県により事業内容が頻繁に変更されており、補助対象となる機器等にも留意が必要。							
	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
3-1. 産地パワーアップ事業 【事業活用件数 (件)】 (ニラ)  <i>R4年度の計画策定が困難なため、当事業はR3年度で終了。</i>  (R2) 産地パワーアップ事業 (R3) 産地パワーアップ事業	目標値	48	30	30	-	-	60		
	実績値	23	12	43	-	-	55		
	達成 (評価)	C	C	A	-	-			
	精査 (C)	【4年間の取組精査】 (第2期精査) ニラの2期計画として実施してきた事業だったが、そぐり機や環境制御装置の導入が一定進んだこともあり、現状から伸ばす各数値目標の設定が難しくなり、次期計画の策定ができなくなったことで、本事業は終了となった。							
	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)		【4年間の取り組み内容】(D)
4. 人・農地プランの実質化 【協議地区数 (地区)】  <div>変更前</div>	目標値	-	20	5	5	-	-	<div>R5年度以降</div>	
	実績値	-	20	3	3				
	達成 (評価)	-	A	B	B				
	【実施主体】 香南市 香南市農業委員会  【連携する分野】 -	精査 (C)	【4年間の取組精査】 (第2期精査) 法改正に伴い、地域計画策定に向けた取り組みに移行。						

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	事業名称		目標値							A/B/C	
	○具体的な取組 (P)		実績値								
経営改善・ 農地維持に向けた取り組み			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)		【4年間の取り組み内容】(D)
	4. 地域計画の策定		目標値	－	－	－	－	6	6	－	法改正に伴い、令和5年度より「人・農地プラン」が「地域計画」へと取り組みが変更となった。令和6年度までに香南市内18地区で地域計画を策定することとなり、策定に向け地域での協議等を順次行っている。
	【協議地区数(地区)】 R5年度 18地区で1度目の協議済		実績値	－	－	－	－	0	0		
	変更後		達成(評価)	－	－	－	－	C			
	【実施主体】 香南市 香南市農業委員会		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査)							
	【連携する分野】－			令和6年度で香南市内18地区で地域計画を策定するようになるが、地域計画策定はスタート地点である。策定後においても、継続的に地域で話し合い地域の農地をどうやって守っていくについて検討することが重要である。 また、地域計画に位置づけられている経営体や農地が要件となる事業があることから、必要に応じて地域計画の見直しが必要である。							
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	5. 農産物のブランド化の推進(みかん)		目標値	－	5,500	5,700	6,000	6,500 ▷ 32		#DIV/0!	関係団体との連携を図り、山北みかんの更なるブランディングを実施。青果や加工品の販売、また首都圏でのイベントの開催等を通じて産地のPR活動を行った。
	【加工品の販売額(千円)】 → R5～ 【加工用みかん販売平均単価(円)】		実績値	5,344	5,649	2,415	6,476	31			
	(R2)加工品の販売額(千円) (R3)加工品の販売額(千円) (R4)加工品の販売額(千円) (R5)加工用みかん販売平均単価(円)		達成(評価)	－	A	C	A	B		#DIV/0!	
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査)								
県内ではトップシェアを誇り、安定した需要のある山北みかんについて、加工品による農家所得の向上や産地のPRによる県外への発信を行ってきた。その中で、通年での販売につながった「山北みかんジュース」や、メディアにも取り上げられ人気商品となった「山北みかんバター」といった商品の開発が行われ、「地域就農」を掲げた株式会社山北みらいの設立による後継者育成の体制づくりも進められた。今後、加工品の安定した生産や、産地としての後継者問題など課題も残っているが、引き続き、生産者・JA・山北みらい等と協力し、産地の維持発展に向けた取り組みを検討、実施していく。											
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
6. 農産物の販売力の推進(ニラ)		目標値	－	1,500,000	1,600,000	1,600,000	1,700,000 ▷ 1,000,000	5,700,000	B	ニラの担い手確保に向けた新規就農者への支援や、そぐりセンターの積極的な活用を呼びかけ、産地としての生産量アップに努めた。	
【ニラ販売額(千円)】 ※ JA高知県(香南市分)入金額 ※ 園芸年度：8月～翌7月		実績値	1,170,000 (R元園芸年度)	1,002,722	965,311	864,920	1,051,890	3,884,843			
(R2)ニラ販売額 (R3)ニラ販売額 (R4)ニラ販売額 (R5)ニラ販売額(系統出荷のみ)		達成(評価)	－	C	C	C	A		68%		
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査)								
上記取り組みの他には加工品開発の可能性を模索したり、ニラ塩焼きそばによるPRなども実施してきたが、農家にとって青果での販売が一番収益につながることで、その販売体制が各所で確立されていることから、新たな取り組みが継続されることはなかった。また、生産者が単価に左右されることで系統外出荷への流出も多く、産地全体としての販売額の把握も困難。本指標による取り組みの難しさを感じた。											
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
7. 中山間地域等直接支払事業		目標値	－	6,650	6,650	7,500	7,500	28,300	B	10組織が集落協定を定め、交付金を活用し、耕作放棄の発生防止活動、水路・農道等の泥上げ・草刈り等や景観作物の作付を実施し、平地地域と比べると農業生産条件の不利な中山間地域の農村環境で農業生産活動を継続することができた。	
【対象農地面積 (a)】  (R2)中山間地域等直接支払事業 (R3)中山間地域等直接支払事業 (R4)中山間地域等直接支払事業 (R5)中山間地域等直接支払事業		実績値	－	6,912	7,134	7,056	7,056	28,158			
		達成(評価)	－	A	A	B	B		99%		
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査)								
中山間地域等直接支払制度では、令和2年度から令和6年度を第5期対策と位置づけ中山間地域を守る集落を支援している状況である。令和4年度は対象農地の農業振興地域除外により令和3年度と比べ78a面積が減少している。 令和7年度からは、第6期対策として新たな5年間の取り組みが始まる。中山間地域の振興に寄与する事業であることから今後も産業振興計画に位置付けることが必要である。											

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値									
経営改善・農地維持に向けた取り組み			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	8. 多面的機能直接支払事業 【対象農地面積 (a)】		目標値	—	32,930	33,260	33,590	36,720	136,500	B	R2～R5年度において、各地区の活動組織が交付金を活用し、水路、農道等の草刈りや泥上げ、補修・更新等、コスモス等による景観形成を実施し、農業用施設や、農村環境の維持・保全に努めた。
	(R2) 多面的機能直接支払事業 (R3) 多面的機能直接支払事業 (R4) 多面的機能直接支払事業 (R5) 多面的機能直接支払事業		実績値	—	27,383	27,355	27,762	27,764	110,264		
			達成(評価)	—	B	B	B	B		81%	
			精査(C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 令和2年度から令和5年度の4年間の目標値136,500aに対し実績値110,264aでありB評価となった。実績値としてはR2～R5年度まで構成員等の変動もないため、ほぼ横ばいとなっている現状である。今後も引き続き、既存組織内で面積増加に向けて少しでも構成員の増加を図るよう、組織の代表者や事務担当者に対して直接呼びかけを行う。再認定に向けての、現地確認(10～12月頃)などの機会を利用し、継続した呼びかけを行う。							
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	9. 有害鳥獣被害対策実施事業 【駆除数(頭羽)】		目標値	870	635	735	735	735	2,840	B	香南市猟友会や香我美狩猟クラブと連携を図り、有害鳥獣の駆除に努めた。R5年からは、シカ・イノシシの報償金も引き上げ、狩猟者のモチベーションアップによる担い手確保にも取り組んだ。
	(R2) 捕獲数 (R3) 捕獲数 (R4) 捕獲数 (R5) 捕獲数		実績値	679	837	684	850	440	2,811		
			達成(評価)	B	A	B	A	C		99%	
			精査(C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 疥癬タヌキの出没や豚熱の影響などによる環境の変化により捕獲数は増減を繰り返しており、農作物被害の相談や駆除の依頼が多い年は捕獲数も多く、捕獲数が少ない年では被害相談等も減る傾向があるため、目標の達成が必ずしも良いことではなく、その逆も然りといった状況にある。狩猟者も高齢化が進んでおり、現時点では大きな増減はないものの、今後は被害相談に対応できるだけの担い手確保が課題である。							
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	10. 有害鳥獣被害防止事業 【柵の設置距離数 (m)】		目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	40,000	B	市単補助金による迅速な対応により防護柵の設置を進め、被害(拡大)の防止に努めた。
	(R2) 防止柵延長 (R3) 防止柵延長 (R4) 防止柵延長 (R5) 防止柵延長		実績値	9,666	7,006	8,650	7,385	3,836	26,877		
			達成(評価)	A	B	B	B	C		67%	
			精査(C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) シカ・イノシシ対策としてのワイヤーメッシュ柵設置を中心に補助金活用が行われ、被害防止のための防護柵が延長されてきた。資材高騰や設置に係る労力など一定の負担も発生しているが、柵を設置することで確実に効果が見込まれるため、今後も継続して補助金活用による柵の設置を推進していくもの。しかし、各地区内での被害量と被害予測(鳥獣の出没の傾向)などから、柵設置による費用対効果が期待できない場合もあるため、申請時の聞き取り等での状況判断も必要。							
基盤整備・防災への取り組み	◆農業生産基盤の充実にに向けた取り組み										
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	1. 耕作条件改善事業 【地区数】		目標値	2	2	3	3	3	11	B	地域からの要望も踏まえ事業化の検討を行い、担い手確保～設計、施工までの都度地域と協議を行いながら順次実施してきた。
	(R2) 耕作条件改善事業(〇〇地区) (R3) 耕作条件改善事業(〇〇地区) (R4) 耕作条件改善事業(〇〇地区) (R5) 耕作条件改善事業(〇〇地区)		実績値	2	2	3	3	2	10		
			達成(評価)	A	A	A	A	B		91%	
			精査(C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 基盤整備実施後の地区において、経年劣化により機能維持が困難となった土地改良施設の再整備(用水路の改修やゲート設置等)を行い、農業生産基盤の充実に寄与されている。また本事業の要件でもある農地の集積を進めることで、今後に向けた担い手確保にもつながっている。							
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	2. 重油流出防止付燃料タンク整備事業 【整備数】		目標値	26	20	20	20	20	80	C	広報への掲載により周知を行っている。また、園芸用ハウス整備事業を活用する加温品目を栽培する農業者に事業を活用することを薦めてきた。
	(R2) タンク整備事業 (R3) タンク整備事業 (R4) タンク整備事業 (R5) タンク整備事業		実績値	19	5	2	7	3	17		
			達成(評価)	B	C	C	C	C		21%	
			精査(C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 目標値80基のところ実績値17基となっており、達成度合が低い状態である。流出防止付き燃料タンクは南海トラフ地震の二次災害として想定される重油流出のリスク軽減が図れることから、今後も普及が必要。また併せて、既存タンクの削減による重油代替暖房機(LPGボイラー、木質バイオマスボイラーおよびヒートポンプ)の普及についても行い、重油流出のリスク軽減・既存タンクの削減に努める。							

## ◆ 第2期香南市産業振興計画 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧(R2-R5)

## 【林業分野】

数値目標	年度	基準値 (R0年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	精査値 ※1	4年間の達成 (達成度合)	備 考
間伐面積 (ha)	目標値	68	25	40	50	65	51	180	B	・目標値、実績値は累積面積 ※R3年度から上方修正 R3: 30 ▷ 40 / R4: 35 ▷ 40 合計 : 185 ▷ 200 ※R4年度から再度上方修正 R4: 40 ▷ 50 / R5: 45 ▷ 65 / R6: 50 ▷ 51 合計 : 200 ▷ 231 ※1 ・精査目標値 R2-R5の累積目標値 ・精査実績値 R2-R5の累積実績値
	実績値	34.5	25.4	39.5	35.9	29.2		130		
	達成 (評価)	C	A	B	B	C				

## ■取り組みの内容について

## 【4年間の総評】

令和2年度から令和5年度の4年間の目標値180haに対し実績値130haでありB評価となった。  
理由としては、実績値を市補助金(県造林補助金)の上乗せ補助であり、事後申請になる。)の申請面積で集計しており、県補助申請が12月末時点の実績で取りまとめるため、実績としては、1月～12月の間伐実施面積となることに加え、事後申請であることから、12月末時点で間伐途中の森林があった場合は、途中までの実績で精算せずにその森林所有者の森林の間伐が全て完了してから、次年度に申請をするため、実績が当初の目標値を満たせない場合があることから実績値が大きく下回る結果となった。  
また、R4年度までは香南市における香美森林組合の施業班は1班体制で実施しておりましたが、R5～R6年度については3班体制で実施中であり、補助金申請の時期の関係で、R5年度実績に計上できなかったものについては、R6年度には計上できる見込み。(約85ha程)  
その他にも、保育間伐について、令和2年度より森林環境譲与税を活用し、補助率を100%に改正しており、間伐の促進に繋がった。

戦略の柱

◆取り組みの柱

年度	基準値 (H0年度末)	R2	R3	R4	R5	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
事業名称	目標値						A/B/C	
○具体的な取組 (P)	実績値							

◆ 森林の管理

年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
1. 意向調査の実施 【意向調査の面積 (ha)】 (R2)意向調査の面積 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上	目標値	-	30	45.85	120	140	335.85		B
	実績値	-	121.5	26.1	82.3	81.2	311.06		
	達成(評価)	-	A	C	B	C	93%		
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 令和2年度から令和5年度の4年間の目標値335.85haに対し実績値311.06haでありB評価となった。 今後も引き続き、夜須町細川地区、沢谷地区で調査を実施していく。 R5年度までに実施した意向調査対象林班において、回答が無かった森林所有者への後追い調査(探索・再送)及び新たな林班で調査を実施していく。							

年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
2. 森林管理制度森林境界明確化 委託事業 【森林境界明確化委託業務面積 (ha)】 【間伐事業の実施に向けて任意の境界を確定していく事業】 (R2)森林境界明確化委託業務面積 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上	目標値	170	25	40	40	40	145		A
	実績値	22.7	30.9	42.2	42.0	51.4	166.5		
	達成(評価)	C	A	A	A	A	115%		
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 令和2年度から令和5年度の4年間の目標値145haに対し実績値166.5haでありA評価となった。 R2年度から目標値を越える範囲を継続して実施できていることから、今後も引き続き、意向調査を実施した、林班にて森林境界明確化を進めていく。							

◆ 間伐事業の実施

年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
1. 間伐事業 (保育・搬出間伐) 【ha】 ※元「緊急間伐総合支援事業(保育・搬出間伐)」及び「森林管理制度間伐委託事業(保育間伐)」 (R2) (R3) (R4) (R5)	目標値	68	25	35	50	65	175		B
	実績値	34.5	25.4	39.5	35.9	29.2	130		
	達成(評価)	C	A	A	B	C	74%		
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 令和2年度から令和5年度の4年間の目標値175haに対し実績値130haでありB評価となった。 今後も引き続き、保育間伐・搬出間伐を実施し、森林の持つ公益的機能(水源かん養機能・減災機能・生態系保全機能 等)の維持・増進に繋げていく。							

森林環境の保全に向けた取り組み

森林環境の保全に向けた取り組み

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (1000年度策)	R2	R3	R4	R5	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値								
啓発・普及への取り組み	◆山や森林に親しむ機会の提供									
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	1. 木育事業 【実施回数(49回)】									
	(R2)①0回②9回③1回 (R3)①1回②8回③1回④1回⑤1回 (R4)①3回②6回③2回④1回⑤1回 (R5)①2回②9回③1回④1回⑤1回	目標値	—	11	13	13	13	50	B	① 木育イベントの開催（子ども又は保護者を対象） ② 保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施 ③ 木育事業全般に係る周知活動 ④ 香南市の森からの贈り物事業（市内の乳児に木のおもちゃを配布） ⑤ 市内の施設に香南市材を活用した木製おもちゃの贈呈
	①木育イベントの開催 ②保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施 ③木育事業全般に係る周知活動 ※R5年度から名称変更 ④香南市の森からの贈り物事業（市内の乳児に木のおもちゃを配布）※R3から目標値に追加 ⑤市内の施設に香南市材を活用した木製おもちゃの贈呈 ※R3から目標値に追加	実績値	—	10	12	13	14	49		
		達成(評価)	—	B	B	A	A			
		精査 (C)	【4年間の取組精査】（第2期精査） 令和2年度から令和5年度の4年間の目標値50回に対し実績値49回でありB評価となった。 今後も引き続き、木育イベントの開催、保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施、木育事業全般に係る周知活動、香南市の森からの贈り物事業、市内の小・中学校に県産材を活用した木製備品を贈呈を継続して実施していく。							

## ◆ 第2期香南市産業振興計画 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧(R2-R5)

## 【水産業分野】

数値目標	年度	基準値(H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	精査値※1	4年間の達成(達成度合)	備考
沿岸漁業総生産額 (百万円)	目標値	－	285	290	295	300	305	1,170	B	高知県漁協(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額。 ※H24年度からH30年度までの沿岸漁業総生産額のうち、最大値・最小値を除いた平均値を算出し、伸び率10%(浜の活力再生プラン10%以上向上を引用)を考慮し算出。
	実績値	358	290	254	253	241		1,038		
	達成(評価)	－	A	B	B	B			88.72%	※1 ・精査目標値 累積目標値 1,170百万円 ・精査実績値 累積実績値 1,038百万円

## ■取り組みの内容について

## 【4年間の総評】

令和2年度から令和5年度の4年間の目標値1,170百万円に対し実績値1,038百万円でありB評価とした。  
 令和2年度は、シイラ、シラス共に好漁で目標値を上回ったものの令和3年度はシイラの不漁により目標に届かず、令和4年度はシイラは少し回復したもののシラスが不漁となった。令和5年度はシイラ、シラス共に例にないほどの不漁であった。原因としては海水温の上昇や黒潮の蛇行などにより、沿岸部に魚が入ってこなかったことが一番の要因である。  
 漁港・水産施設の整備とし、安心、安全に漁業活動ができるよう整備を進めております。また、市内の水産物の魚価向上では、好不漁により左右されるものの目標値は大きく上回っておりますが、手結の加工販売額は不漁により、特に令和5年度は販売額を伸ばすことが出来ませんでした。  
 後継者の育成については、6名の新規就業支援事業を活用しており、引き続き高知県漁業就業支援センターと連携を図り、新規就業者の確保に努めていく必要があります。

戦略の柱

◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
事業名称	目標値							A/B/C	
○具体的な取組 (P)	実績値								

地産の強化

◆生産基盤の充実									
1. 水産機能施設の整備 【件数】 R2～R5 9件  (R2) 補修・改修等 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)  漁協と協議し、老朽化した水産機能施設の改修・整備を実施し、円滑な漁業活動を維持した。
	目標値	10 (延べ)	3	3	3	4	13	B	
	実績値	17 (延べ)	3	1	1	4	9		
	達成 (評価)	A	A	C	C	A		69%	
	精査 (G)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 円滑な漁業体制を維持していくため施設の管理に努めた。老朽化に伴い補修・改修等は増加傾向にあり、整備件数を目標値として掲げ、評価していくことは実情とあっていないため、今後は目標値から削除する。							
	2. 漁港施設の整備 水産物供給基盤機能保全事業保全計画 【整備率%】 ※ 9.8/11施設 (A判定のみの数) ※ 参考: R元年12月末 6施設/11施設 = 55%  (R2) 7施設/11施設 (R3) 8施設/11施設 (R4) 8.5施設/11施設 (R5) 9.8施設/11施設	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)
目標値		－	64	73	77	82	82	A	
実績値		50	59	68	68	89	89		
達成 (評価)		－	B	B	B	A		109%	
精査 (G)		【4年間の取組精査】(第2期精査) 住吉漁港及び吉川漁港の水産基盤ストックマネジメント事業において、漁港施設の長寿命化工事を計画通り実施できている。今後も水産基盤ストックマネジメント事業は継続し、計画的に実施していくものの補助事業として進めていく。しかしながら、沿岸漁業総生産額の目標達成からの数値目標値から削除する。							

戦略  
の  
柱

◆取り組みの柱

年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
事業名称	目標値						A/B/C	
○具体的な取組 (P)	実績値							

◆ 漁業者の生産性向上

年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
1. 沿岸漁業設備投資促進事業 【件数】1/3件 令和5年度は申請があったものの令和6年度へ繰り越したため0件とした。  (R2) 制度策定 (R3) 漁船導入事業(漁船リース件数) (R4) 同上 (R5) 同上	目標値	-	利子補給 制度策定	1	1	1	3		C
	実績値	-	利子補給 制度策定 (コロナ関連)	0	1	0	1		
	達成(評価)	-	-	C	A	-			33%
精査 (G)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 漁船導入に対する支援事業であり、今後、漁船の導入や支援が必要な漁業者には必要であり、より機能が向上する漁船を活用することで、沿岸漁業総生産額の向上につながると思われる。								

流通・販売の強化

年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)		
1. 市内水産物の魚価向上 【平均kg単価(円/kg)】  (R2) 平均kg単価 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	目標値 (シイラ)	-	138	141	144	147	A		地元水産物の利用状況アンケートを計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響による営業自粛により実施を見送ったが、漁村情報発信ポータルサイトなどを活用し水産物の認知度向上に向けた取組を行った。	
	目標値 (ワシマス)	-	361	368	375	383				383
	実績値 (シイラ)	135	93	207	178	251				251
	実績値 (ワシマス)	354	369	313	557	754				754
	達成(評価)	-	B	A	A	A				
	達成(評価)	-	A	B	A	A				
精査 (G)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 平均kg単価は好不漁に左右されるが、デジタル化等を導入し、効率的な漁業活動を推進していき、安定的な漁獲量のため今後も取り組んでいく。									
年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)		
2. 高知県漁協手結支所の販売額 【販売額: 万円】 県内外の取引先との取引継続  (R2) 手結支所の販売額 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	目標値	3,000	5,100	5,200	5,300	5,400	5,400		C	令和2年度に県版HACCP取得や自動真空包装機を導入し、販売額の増加に努めた。
	実績値	6,328	4,055	3,635	5,615	2,147	2,147			
	達成(評価)(G)	A	B	B	A	C			40%	
精査 (G)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 県版HACCP取得や自動真空包装機を令和2年度に導入し、販売額も伸びてきたものの、不漁により、令和5年度は販売額が伸びなかったが、販売額は右肩上がりとなってきたので今後において、今まで以上の拡大を目指していく。									

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	計	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
	事業名称 ○具体的な取組 (P)	目標値 実績値								A/B/C		
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価		【4年間の取り組み内容】(D)	
	3.シラス加工品販売額 【販売額:万円/社】	目標値	目標値は設定しないが、引き続き 支援策の情報提供を								シラス加工品販売額は設定しないが、漁村情報発信ポータルサイトなどを活用し水産物の認知度向上に向けた取組を行った。	
	実績値											
	達成(評価)											
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 県版HACCP取得など行っているが、加工業者が少ないことから、目標値を設定すると加工業者の情報が見えてしまう恐れがあることから設定はしないなら、時期目標からは削除してもよいのではないか。									
流通・販売の強化	◆ 学校給食等への納入											
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)		
	1-1. 学校給食等への納入 (かちりじゃこ) 【納入回数(回)】	目標値	－	16	20	60	60	156	A	令和2年度以降に納入できるよう調整を行い、令和5年度に水産業教材を作成し、地元水産物の消費及び食育へつなげていく。		
	(R2) 納入回数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	実績値	－	58	73	81	76	288				
		達成(評価)	－	A	A	A	A		185%			
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 食育、地産地消の推進など販売額にもつながっていくことから、継続していきたい。									
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)		【4年間の取り組み内容】(D)	
	1-2. 学校給食等への納入 (シイラ) 【納入回数(回)】	目標値	11	22	23	23	24	92	B	令和2年度以降に納入できるよう調整を行い、令和5年度に水産業教材を作成し、地元水産物の消費及び食育へつなげていく。		
	(R2) 納入回数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	実績値	22	20	17	27	24	88				
		達成(評価)	A	B	B	A	A		96%			
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 食育、地産地消の推進など販売額にもつながっていくことから、継続していきたい。										
担い手の確保	◆ (一社)高知県漁業就業支援センターとの連携による担い手確保											
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)		
	1. 担い手の確保事業 (自営漁業者育成事業) (漁家子弟支援事業) (雇用型漁業支援事業) 【就業者数:人】	目標値	1	1	1	1	1	4	A	(一社)高知県漁業就業支援センターと連携しフェアを開催し、就業希望者等へ広く周知した		
	(R2) 雇用型漁業支援事業 (R3) 漁家子弟支援事業 (R4) 雇用型漁業支援事業 (R5) 雇用型漁業支援事業	実績値	0	1	2	2	1	6				
		達成(評価)	C	A	A	A	A		150%			
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 令和2年度には、各種支援制度の説明会の開催し、(一社)高知県漁業就業支援センターのHPへ香南市内の漁業者募集案内の掲載やフェアの開催など担い手確保の活動を行った。今後も引き続き確保に向けて広く周知することに努める。										

◆ 第2期香南市産業振興計画 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧(R2-R5)

【商業分野】

数値目標	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	精査値 ※1	4年間の達成 (達成度合)	備考
商業者数 (事業所)	目標値	－	813	773	768	763	758	763	A	香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)のF～O・Q・Rに分類される事業所数。 ※1 H30年度に市商工会が高知県に報告を行った事業者数を基準値とし、そこから目標値の設定を行ったが、新型コロナウイルス感染症に関する周知等を行った際に、連絡が取れない等の事業者が見受けられたことから、R2年度に商工会による事業者の確認調査が実施された。 その結果、すでに廃業・店舗がなくなっている非会員事業者が多かったことがわかり、R3年度に数値目標を再設定。 ※1 ・精査目標値 R2-R5の累積目標値 ・精査実績値 R2-R5の累積実績値
	実績値	813	778	777	768	770		770		
	達成 (評価)	－	－	A	A	A			100.92%	
新規事務系企業数 (企業/年)	目標値	－	2	2	2	2	2	8	C	香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用することを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務系企業数。 ※1 ・精査目標値 R2-R5の累積目標値 ・精査実績値 R2-R5の累積実績値
	実績値	－	1	0	1	1		3		
	達成 (評価)	－	C	C	C	C			37.50%	

■取り組みの内容について

【4年間の総評】

新型コロナウイルス感染症が5類移行となったこと等も影響していると考えられるが、R5年度中の創業者が多かったこともあり、商業者数は目標を達成している。しかしながら、毎年度廃業に至っている事業者も多く、全体数として微減の状況が続いているといえるため、今後も既存事業者が廃業に至らないよう、商工会や事業承継・引継ぎ支援センター等の関係機関とも連携しながら、必要な支援策の検討等を適宜行っていくとともに、地域経済の活性化に繋がる取組を継続していく必要がある。また、創業者支援の取組として、空き店舗等対策事業費補助金の活用実績が伸びてきているため、今後も各施策の周知等を積極的に図り、空き店舗の有効活用も見据えた、市内での新規創業を促進し、商業者数の維持に繋げていきたい。

新規事務系企業誘致については、目標値には達していないものの、4年間で3件の誘致に繋がり、市内における新規雇用、ひいては地域経済への波及効果ももたらすことができた。今後も、取組を進めていく予定ではあるが、誘致するための空き物件確保が課題となっているため、状況に応じたアプローチを行っていく必要がある。

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値								
空き店舗活用に向けた取り組み	◆ 空き店舗対策	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	1. 商店街等振興計画の策定 【計画策定】	目標値	－	計画策定	計画策定	計画策定	3	－	B	R4年7月に協議会を立ち上げた後、11月「香南市中心市街地活性化計画」を策定し(R6年2月に一部改定)、計画に基づいた取組を地域事業者や関係機関等とともに進めてきた。取組の実行に当たり、R5年に創設した「中心市街地活性化計画推進事業費補助金」による支援も行った。
	(R2)－ (R3)－ (R4)計画策定 (R5)計画に基づくイベント開催数	実績値	－	－	未策定	計画策定	2	－		
		達成(評価)	－	－	－	A	B		－	【4年間の取組精査】(第2期精査) 新型コロナウイルス感染症の影響による事業者支援事業等の優先により、当初の予定より大幅に遅れての着手とはなったが、令和4年に「香南市中心市街地活性化計画」を策定。その後、各取組のグループ毎に打合せ等を行い、R5年度中には、回遊の仕組みづくりを目的とした「スタンプラリー」、中心市街地の魅力向上を目的とした「香南かるたでゲット!」を開催し、市内事業者の認知度向上に一定寄与することができた。今後も、地域事業者を主体として、地域商業の活性化に繋げていけるよう取組を推進予定ではあるが、計画策定時より「実施主体」が課題となっており、補助金活用可能期間(R5～7)終了後における収支面での自立も含めて、実行体制の強化が必要。
		精査 (C)								
	2. 空き店舗実態調査の実施 【調査実施】	目標値	－	調査実施	調査実施	調査実施	－	－	A	市内全域の空き店舗実態調査を実施した。 ＜調査方法＞ インターネット上の地図を利用して下見→現地での外観等確認→とりまとめ
	(R2)－ (R3)調査実施 (R4)調査実施	実績値	－	－	調査実施	調査実施	－	－		
		達成(評価)	－	－	－	A	－		－	【4年間の取組精査】(第2期精査) R3～4にかけて市内全域の空き店舗調査を実施し、実態の把握を行うことができた。商業集積地(赤岡・野市・夜須)における空き店舗の実態については、毎年商工会が実施している「地域商業実態調査」(県照会)の中で把握ができるため、今後は当該調査結果の詳細について適宜情報共有をせしめ、活用可能な空き店舗情報の集約に努めていく。
		精査 (C)								

戦略 の 柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値									
空き店舗活用に向けた取り組み			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	3. 空き店舗バンク事業 【登録件数:累計(件)】  (R2)創設 (R3)空き店舗登録件数 (R4)空き店舗登録件数 (R5)空き店舗登録件数	目標値	-	創設	5 (延べ)	10 (延べ)	15 (延べ)	15	C	R5年度～市内不動産会社が所有する空き店舗物件を集約し、市HPへの掲載を行っている。	
		実績値	-	-	-	-	6	6			
		達成(評価)	-	-	-	-	C				40%
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 「空き店舗バンク」という形態ではないものの、市HPを通した空き店舗情報の発信は一定行えるようになったが、まだ掲載件数が少ない状況である。今後も、商工会や市内不動産会社とも連携しながら市内空き店舗情報の集約に努め、創業希望者への紹介等、効果的に空き店舗の有効活用へ繋げられるよう取り組んでいく。								
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	4. 空き店舗等対策事業 (空き店舗等対策事業費補助金) 【補助金利用件数(件)】  (R2)補助金利用件数 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上	目標値	2	2	2	2	2	8	C	相談窓口、市内金融機関を対象とした説明会や市HP等を通じた施策紹介を実施するほか、要綱について、補助対象業種拡充(R3)、補助率及び補助上限額拡充(R4)にかかる改正を行った。	
		実績値	1	0	0	1	3	4			
		達成(評価)	C	C	C	C	A				50%
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 商工会とも連携した施策紹介や、R3・4年度に実施した要綱改正の効果もあり、R4・5で計4件の活用実績に繋がった。今後も、市内空き店舗の有効活用及び創業を考えられている方の支援に繋がるよう、施策の広報に努め、活用を推進していく。								
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	5. 空き店舗等を活用した新規 事務系企業の誘致 【誘致企業数(件)】  (R2)誘致企業数 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上	目標値	-	2	2	2	2	8	C	企業誘致に向けて、包括連携協定を締結しているインシ株式会社等と連携した首都圏企業との面談(コロナ後はオンライン)や市内視察対応を随時実施するとともに、立地事務系企業に対する雇用支援、香南市情報サービス施設等設置促進事業費補助金の交付を行った。	
		実績値	-	1	0	1	1	3			
		達成(評価)	-	C	C	C	C				38%
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 目標値には達していないものの、関係機関や県等との連携により、4年間で計3件の新規事務系企業の誘致に繋がり、市内における新規雇用、ひいては地域経済への波及効果ももたらすことができた。今後も、包括連携協定を締結しているインシ株式会社とも連携しながら取組を進めていく予定ではあるが、誘致するための空き物件確保が課題となっているため、先方のニーズ等も鑑みながら、状況に応じたアプローチを行っていく必要がある。								
担い手の確保に向けた取り組み	◆ 担い手の確保・育成										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
	1. 事業承継の推進 【事業承継事業者数(人)】  (R2)アンケート調査等 (R3)事業承継事業者数 (R4)同上 (R5)同上	目標値	-	アンケート調査等	1	6	6	13	A	市HPや広報誌等を通じた啓発や、R4年度には「事業承継セミナー」の開催も行い、事業承継に対する意識向上を図る取り組みを行った。	
		実績値	-	-	2	2	9	13			
		達成(評価)	-	-	A	C	A				100%
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 親族承継をする事業者のタイミングが重複したこと等もあり、累積の実績値としては目標達成となっているが、廃業に至っている事業者も毎年一定数存在するため、今後も事業承継に対する意識向上を図る取組を進めていく必要がある。また、商工会では事業承継ヒアリング(内容:後継者の有無・承継に向けた準備の有無・相談相手の有無等)も実施されているため、適宜情報共有をしてもらい、市として新たに取り組むことのできる施策等がないか検討していく。 ※なお、実績値の計上方法として、第3期では、関係機関(商工会または事業承継引継ぎ支援センター)による介入があったケースを計上することとする。								
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
	2-1. 香南市未来人材育成奨学金 返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金 返還助成事業費補助金) 【利用件数(件)】  (R2)利用件数 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上	目標値	10	5	5	5	5	20	C	R2年度に要綱改正(対象者拡充)を行うほか、市HP等による事業周知、立地企業交流会及びものづくり会との合同交流会での事業説明を実施した。	
		実績値	0	0	5	2	4	11			
		達成(評価)	C	C	A	C	B				55%
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) R2年度に対象者拡充の要綱改正を行ったことで、認定申請者が増加し、R3～5年度は継続的に新規認定を行うことができた。香南市に在住で香南市の企業で働く方への補助金であり、今後の香南市の人材確保に大きく貢献できる事業のため、今後はHPや広報だけでなく、SNS等も活用して若年者に事業内容が伝わるような周知活動が必要であると考え。 また、香南市未来人材育成奨学金返還助成事業については商業分野・工業分野の両方に項目設定されているが、第3期より商業分野のみへの掲載とする。								

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	事業名称	目標値	実績値							A/B/C	
	○具体的な取組 (P)										
担い手の確保に向けた取り組み		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価		【4年間の取り組み内容】(D)
	2-2.人材ニーズの掘り起こし 及び発信 【仕事情報件数(件)】	目標値	－	5	5	5				必要に応じて、適宜関係機関等との連携はとるが、本計画の項目からは外すこととする。	
		実績値	－	－	－	－					
		達成(評価)	－	－	－	－					
		【実施主体】 香南市	精査 (G)	市商工会の巡回指導時等に同行して企業訪問を行い、人材ニーズの掘り起こし等を行う予定であったが、実施に至ることができなかった。市内事業者等からヒアリングした人材ニーズについては、適宜関係機関へ繋ぐ等の取組を今後も行っていくが、独自での発信等は実施予定なし。							
	【連携する分野】 農業、林業、水産業、工業、観光分野、移住										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)		【4年間の取り組み内容】(D)
	3. 創業支援事業 【創業者数(人)】	目標値	－	6	6	6	6	24	A	市及び商工会における相談窓口や市HP等を通じた制度紹介を行い、R2年度には3件の特定創業支援事業証明書を発行した。なお、R2年度に計画期間の延長承認を受けている(現行計画の終期：R7年度末)。	
		実績値	－	11	3	6	11	31			
		達成(評価)	－	A	C	A	A				129%
		(R2) 創業者数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	精査 (G)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 創業希望者に対する創業支援等事業計画(商工会や金融機関といった創業支援事業者と市が連携し、創業者や創業後間もない方を支援する計画であり、本計画に基づく認定を受けた事業者は、法人登録免許税の減免等のメリットを受けられる)の案内は適宜行っているが、特に小規模の個人事業者にとってはメリットがほとんどないこともあり、R3年度以降は認定実績がない状況。今後も、商工会等とも連携しながら、空き店舗等対策事業費補助金や創業支援利子補給金等と併せて、創業時に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓に関する基礎等を習得し、持続可能な経営を行っていくための1ツールとして、創業希望者への周知を図っていく必要がある。 ※なお、実績値の計上方法として、第3期では認定創業支援等事業計画にかかる実績報告(市または商工会への事前相談があった創業者及び土佐MBAを受講した創業者数)の対象者を計上することとする。							
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)		【4年間の取り組み内容】(D)
	4. 創業支援利子補給金事業 【利用件数】	目標値	3	3	3	3	3	12	B	相談窓口、市内金融機関を対象とした説明会や市HP等を通じた施策紹介を実施した。	
		実績値	2	3	2	3	3	11			
		達成(評価)	B	A	B	A	A				92%
		(R2) 利用件数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	精査 (G)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 市内金融機関から創業向け融資を受けた創業者が支払った利子のうち、年利1%に相当する額を補給するもので、6事業者(延べ11件の交付)に対して、資金繰りの面で支援をすることができた。引き続き、商工会や金融機関と連携し、制度の活用を促すとともに、創業予定の方、興味を持っている方へ幅広く周知できるように取り組みを行っていく必要がある。							
商業支援	◆ 商業支援										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)		【4年間の取り組み内容】(D)
	1. 中小企業者等保証料補給金事業 元「緊急融資保証料補給金事業」 【新規利用件数(件)】	目標値	－	1	1	10	10	22	C	高知県信用保証協会と毎年度契約を締結し、県の対象融資を受けた事業者分の保証料補給を実施した。また、商工会や金融機関への事業周知を図った。	
		実績値	－	－	1	2	1	4			
		達成(評価)	－	－	A	C	C				18%
		(R2) 利用件数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	精査 (G)	【4年間の取組精査】(第2期精査) R4年度から対象融資の拡充を行ったが、利用件数は少ない状況(対象融資の借入自体が少ない)が続いている。本事業については、R6年度末までを利用認定期間としているため、商工会や金融機関等と連携し、事業周知を継続して図っていくとともに、R7年度以降の事業継続の可否も含めた制度設計を行っていく必要がある。							
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)		【4年間の取り組み内容】(D)
	2. 各種セミナーの開催 【開催数(回)】	目標値	－	2	2	2	2	8	A	インボイス制度、経営戦略、デジタルマーケティング等、様々な分野のセミナーを開催した。 ※R3年度はコロナの影響を鑑みて開催を見送った	
		実績値	－	2	0	3	4	9			
		達成(評価)	－	A	C	A	A				113%
		(R2) セミナー開催数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	精査 (G)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 市や商工会主催による事業者向けセミナーを開催し、経営者や従業員のスキルアップを図ることができた。今後も、事業者のニーズや時代に合わせたセミナーの開催を検討していく。							

戦 略 の 柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	事業名称		目標値							A/B/C	
	○具体的な取組 (P)		実績値								
商 業 支 援			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	3. 香南カーニバル事業 【参加店舗数(軒)】  (R2)参加店舗数 (R3)同上 (R4)－ (R5)－		目標値	45	45	200	検討	検討	245	A	R2・R3年度、新型コロナウイルス感染症により 落ち込んだ市内経済の活性化を図るため、「香 南カーニバル事業」を実施した。
			実績値	45	82	224	－	－	306		
			達成(評価)	A	A	A	－	－		125%	
			精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 商業の活性化を目的に、主に飲食店を中心に短期間のグルメイベント「香南カーニバル」を開催し、新型コロナウイルス感染症の影響を大 きく受けた地元事業者の売上増加に繋げることができた。R4年度以降は、給付金等の形で事業者支援施策に取り組んだこともあり、カーニ バル事業の開催は非実施。今後も事業者の経営状況の把握等に努め、必要な施策の検討を行っていく必要がある。							
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計 (C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	4. 地場産品販売促進事業 【カタログ販売額+ふるさと 										

◆ 第2期香南市産業振興計画 各推進分野別部会『数値目標及び実績』一覧(R2-R5)

【工業分野】

数値目標	年度	基準値 (R元年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	精査値 ※1	4年間の達成 (達成度合)	備考
製造品出荷額 (億円)	目標値	500	360	380	400	420	440	1,140	B	工業統計調査 (調査年は前年度の製造品出荷額) ※R元年工業統計結果(速報)の製造品出荷額344億円から、R2年度以降に操業開始を予定している企業の事業計画による見込みと、第2期からの支援施策による増加分を見込んだもの。 ※1 ・精査目標値 R2-R4の累積目標値 ・精査実績値 R2-R5の累積実績値
	実績値	344	344	380	295	-	-	1,019		
	達成 (評価)	B	B	A	B	-	-		89.39%	
新規雇用者数 (人)	目標値	-	5	8	19	16	15	48	A	市内立地企業に新たに雇用された市内在住の人数 ※立地企業の事業計画に基づく予定雇用者数の内、現在雇用している方を差し引いた人数の半数以上が地元雇用者と仮定し、地元雇用者数の70%を見込んだもの。 ※R2.R3年度の実績に齟齬があり修正。 ※1 ・精査目標値 R2-R5の累積目標値 ・精査実績値 R2-R5の累積実績値
	実績値	-	21	29	17	11	-	78		
	達成 (評価)	-	A	A	B	B	-		162.50%	

【4年間の総評】

製造品出荷額については、R3年度は前年度比+36億円であったがR4年度に前年度比-85億となっており、国・県に原因を確認したが、特定は困難であった。今後は、市内立地企業に対して市独自に調査をおこない、バックデータを持つなど、数値の増減に対して一定の範囲で説明が出来るような状態にする必要があると考える。

新規雇用者数については、年度ごとにムラがある。これについては、計画していた新規事業に前倒しで取り組むこととなったため、雇用についても前倒しでおこなう運びとなり、これがR4～R5に比べてR2～3年度の新規雇用者数が多い理由となっている。

新規雇用の人数については、4年間で目標値48に対して実績値78と大幅に上回っているが、企業訪問等を通して企業の人材不足や外国人雇用問題等、新たな課題も浮彫になってきているため、人材確保を支援する新たな施策を検討する必要性があると考え。

戦略の柱

◆取り組みの柱

事業名称	目標値	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
○具体的な取組	実績値								A/B/C	

◆ものづくりの基盤整備

新規・拡大・継続	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	ABC評価	
1. 新規工業団地整備事業 【工業団地の選定】R2 【造成基本設計】R3	目標値	-	候補地 選定 適地調査	造成基本 設計	共同開発 に関する協定 締結	測量 造成実施 設計	用地買収		
	実績値	-	適地調査 完了	造成基本 設計完了	-	事業の中止と判断されたため、R3年度までとす			
	達成(評価)	-	A	A	-				
【実施主体】 香南市 高知県	精査 (C)	【R2年度】 ・新規工業団地を整備するため適地調査を実施し、候補地の選定を行う。⇒工業団地適正地検討資料作成委託業務 【R3年度】 ・適地調査で選定された5箇所の候補地より、香我美町下分地区を最終候補地に選定。 ・最終候補地(香我美町下分地区)の選定と造成基本設計について地権者や関係機関に説明会を開催。 ※以下の①～⑥を開催 ① 議員全員協議会での説明(4/23) / ② 山南土地改良区への説明会(7/2) ③ 山南まちづくり協議会への説明会(7/4) ④ 地権者等への説明会(7/12) / ⑤ 山南土地改良区への事業進捗説明会(12/8) ・農地区分や法規制の確認を行ったうえで造成基本設計に着手。⇒R4.3.14完了 【R4年度】 ・再検証の結果、事業中止となる。 ・事業中止について、地権者や関係機関に説明会を開催 5/23…議員全員協議会での説明 5/29…山南まちづくり協議会への説明 6/7…所属長会(市教育委員会)での説明 6/15…山南土地改良区への説明・地権者等への説明							
【連携する分野】-									
	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
2. 香南市企業立地促進事業 【条例改正】R2 【利用件数(件)】R3  (R2) 条例改正 (R3) 利用件数 (R4) 同上 (R5) 同上	目標値	条例 策定	条例 改正	1	1	1	3	B	R5年度 補助金交付 2件 (株)暁産業…R4.7.11操業開始 (株)ミツトヨ…R4.11.1操業開始 ※交付決定は令和3年度。令和5年度に交付要件を満たしたため、補助金交付。
	実績値	策定	制定	2	-	-	2		
	達成(評価)	A	A	A	-	-		67%	
	精査 (C)	【4年間の総評】 企業立地促進事業費補助金の効果により、企業立地・活用に繋げることができた。R5年度には、交付要件を満たした、(株)ミツトヨ及び暁産業(株)への補助金交付に繋がった。今後は立地企業に対しての用地取得の支援はもちろん、既存企業の支援についても積極的な取組みが必要と考える。							

企業誘致の促進

戦略  
の  
柱

◆取り組みの柱

事業名称	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
○具体的な取組	目標値							A/B/C	
	実績値								

既存企業  
の  
育成・  
支援

	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
1. 商談会開催事業 【商談件数(件)】 ※R2年度よりKPIに追加  (R2)商談件数 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上	目標値	—	50	50	50	50	200	B	香南市商談会開催事業費補助金の交付。 市内企業へ県主催商談会の案内・参加の促進
	実績値	—	30	19	65	63	177		
	達成(評価)	—	B	C	A	A			
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) R2～R5の4年間で、県内外併せて177件の商談会を実施した。R2・3年度はコロナの影響もあり対面での商談会の開催が難しく、目標件数の達成が出来ていないが、R4・5年度はコロナの影響が少なく、目標件数を大きく超える開催が出来た。商談会を通しての企業同士のマッチングは香南市の企業の受注拡大・販路拡大に大きく寄与することが予想され、第3期も継続しておこなう必要がある。							
	2. 中小企業者の生産性向上支援事業 【先端設備等導入計画認定件数(件)】  (R2)計画認定件数 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上	目標値	30	30	30	30	15	105	C
実績値		8	16	11	7	11	45		
達成(評価)		C	C	C	C	B		43%	
精査 (C)		【4年間の取組精査】(第2期精査) 立地企業交流会及びものづくり会との合同交流会等で事業案内を行い、市内企業に対して周知活動を行ったがR2～R5年度の5年間で目標値105件に対して45件という結果になった。活用いただいた企業に対して補助ができたことは良かったと考えるが、交流会等に限らず、企業訪問も積極的に行い、周知活動の幅を広げる必要がある。							
3. 香南市産業人材育成事業 (香南市産業人材育成事業費補助金) 【利用件数(件)】  (R2)利用件数 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上		目標値	10	5	5	5	5	20	B
	実績値	0	5	2	4	4	15		
	達成(評価)	C	A	C	B	B		75%	
	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) R2～R5年度の4年間で目標値20件に対して15件となった。交流会等での事業周知により毎年申請をいただくことができ、市内企業の人材育成に寄与出来たものとするが、申請企業が偏っている現状があり、多くの企業に活用いただけるように、より幅広い周知が必要であった。							

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
	事業名称	目標値							A/B/C		
	○具体的な取組	実績値									
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
	4. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成金) 【利用件数(件)】	目標値	10	5	5	5	5	20	C	要綱の改正 HP・広報による周知活動 立地企業交流会及びものづくり会との 合同交流会での事業説明	
	(R2)利用件数 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上	実績値	0	0	5	2	4	11			
	達成(評価)	C	C	A	C	B		55%			
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) R2年度に対象者拡充の要綱改正をおこなったことで、認定申請者が増加し、R3～5年度は継続的に新規認定をおこなうことができた。香南市在住で香南市の企業で働く方への補助金であり、今後の香南市の人材確保に大きく貢献できる事業のため、今後はHPや広報だけでなく、SNS等も活用して若年者に事業内容が伝わるような周知活動が必要であるとする。								
既存企業の育成・支援		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
	5. 合同企業説明会の開催 【開催回数(回)】	目標値	－	2	2	2	2	8	A	県主催合同企業説明会の開催 城山高校への合同説明会の開催	
	(R2)開催回数 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上	実績値	－	2	1	3	2	8			
	達成(評価)	－	A	C	A	A		100%			
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 県との合同企業説明会や城山高校への説明会開催等により、市内企業の人材確保に努めた。 県との合同企業説明会では直接、求職者や学生が企業の声を聞くことができ、企業にとっても企業紹介の良い場になったが、開催の時期が9月だったこともあり、学生の参加が少なかったため、今後は、夏休みの時や土日祝日での開催も視野に いれて検討する必要がある。								
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
	6. ものづくり教育推進事業 【工場見学やものづくり体験 学習実施回数(回)】	目標値	－	1	1	1	1	4	C	小学校が夏休みの時期に香南市の工 場見学ツアーの開催	
	(R2)体験学習等実施回数 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上	実績値	－	－	－	1	1	2			
	達成(評価)	－	－	－	A	A		50%			
		精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 小学4～6年生を対象に香南市内の工場見学ツアーを実施した。今後の香南市の人口や就業率の増加を達成するうえで、 小さい頃から香南市の仕事に触れることは重要であり、今後も継続していく必要がある。また、企業が学校に訪問して企 業説明をおこなったり、体験型授業を催すなど、新たな試みを検討することも必要であるとする。								

数値目標	年度	基準値 (R元年度)	R2	R3	R4	R5	R6	精査値 ※1	4年間の達成 (達成度合)	備 考
観光施設入込客数 (万人)	目標値	120	107	110	114	117	121	448	B	観光庁の「観光客入込客統計」に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。 (暦年 1-12月の合計) 【対象10施設】合計 ①県立のいち動物公園 ②月見山子どもの森 ③ヤ・シバパーク ④絵金蔵 ⑤天然色市場 ⑥やすらぎ市 ⑦あぐりのさと ⑧黒潮温泉 ⑨創造広場「アクトランド」 ⑩土佐カントリークラブ ※1 ・精査目標値 R2-R5の累積目標値 ・精査実績値 R2-R5の累積実績値
	実績値	104.5	90.7	96.2	102.2	101.8		390.9		
	達成 (評価)	B (※11施設)	B	B	B	B			87.25%	

※第1期(H27-R元)は備考欄10施設に加え、香南市サイクリングターミナルの宿泊以外の利用者数を計上。

■取り組みの内容について

【4年間の総評】  
令和2年度から新型コロナウイルス感染症が流行したため、観光施設の休館や外出控え、外国人観光客の渡航制限などにより目標は達成することができなかった。しかしながら、落ち込んだ観光客の回復のために市独自のキャンペーンの実施や県が実施したトク割キャンペーンにより、近隣他県からの誘客や県内観光客の誘客促進につながり、目標の85%以上を達成し続けることができた。また、キャンペーンを活かして、SNSでの情報発信を活発に行い、HPへのアクセスにつなげることで、香南市の多様な情報を届けることができた。令和5年度からは、外国人観光客を乗せた船の寄港の増加、台湾からの定期就航便が定着するなど、外国人観光客の増加に伴い受入体制の強化が必要となっている。連続テレビ小説「あんぱん」放送決定により、ゆかりのある物部川エリアへの集客が見込めることやアクトファクトリーがオープンして新たな観光拠点が生まれたことなど、誘客促進に寄与すると考えられる。このことから、適切な情報提供と受入環境を整えることで魅力を感じてもらい、周遊促進・滞在延長やリピーターに繋げていく取組が必要である。

戦略の柱

◆取り組みの柱

年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
事業名称	目標値						A/B/C	
○具体的な取組	実績値							

◆情報発信手段の効果的な活用

年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
1. 香南市のPR活動の強化 【イベント参加数(日曜市+高知新港PR)】 【実施回数(回)】  (R2) イベント参加回数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	目標値	—	25	25	25	100	B	
	実績値	—	8	18	27	46		
	達成(評価)	—	C	B	A	A		
【実施主体】 香南市 (一社) 香南市観光協会 (一社) 物部川IDMO協議会  【連携する分野】 -	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 令和2～3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、日曜市の中止や自粛、高知新港への寄港が少なかったため、十分なPR活動を行うことができなかった。新型コロナウイルス感染症による影響が少なくなってきた段階から積極的に日曜市に出店し、目標を上回るPR活動を実施できた。日曜市に出店する事業者の多様化に取り組み、香南市PRだけでなく、事業者の商品を知ってもらい、誘客にも繋がっている。今後も多くの事業者に出店の機会があることの周知を進め、香南市への誘客や事業者の販路拡大に繋がるよう取組を進めていく。						

◆情報発信手段の効果的な活用

年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
2. 香南市のPR活動の強化 【HPアクセス件数(件)】 (香南市観光協会HP + Guidoor(多言語観光サイト)の合計)  Guidoorアクセス数  (R2) HPアクセス件数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	目標値	—	125,000	128,750	132,600	140,700	527,050		A
	実績値	—	110,799	128,880	252,028	304,747	796,454		
	達成(評価)	—	B	A	A	A			151%
【実施主体】 香南市 (一社) 香南市観光協会  【連携する分野】 -	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 香南市観光協会のHPの改修によりスマートフォンやタブレット端末による閲覧がしやすくなったこと、キャンペーンに合わせた特設ページの作成、イベント情報の提供機関の増加により、HPのアクセス数増加に繋がった。また、SNSでの情報発信からHPへの誘導を行うことでより詳しい情報や関連するコンテンツを提供することに繋がっている。今後も観光客がほしい情報をすぐに見つけられるよう、時期に応じた内容に更新し誘客に繋がるように取組を継続していく。							

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	事業名称	目標値							A/B/C	
	○具体的な取組	実績値								
香南市観光の発信		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	3. SNSを活用した情報発信 【フォロワー数(人)】 (LINE+Instagram+Facebook) ※香南市観光協会の各SNSを対象	目標値	－	3,500	4,000	4,500	5,600	5,600	A	各SNSツールを活用し、タイムリーな情報発信に努め、フォロワーを増やし、認知度向上に繋げた。
	(R2) SNSフォロワー数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	実績値	－	4,306	4,891	5,741	7,298	7,298		
		達成(評価)	－	A	A	A	A		130%	
	【実施主体】 (一社)香南市観光協会 【連携する分野】－	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) Instagramの投稿を充実したことやタイムリーな情報提供に努めたことによりフォロワー数が大幅に増加した。新たにYouTubeとスレッドでの投稿も開始し、幅広い利用者層へ香南市のイベント情報や観光情報を届けた。フォロワー数となっていただけで、一時だけでなく常時情報を提供できているため、関心のある情報を基に香南市への誘客に繋がる取組となっている。SNSからHPへの誘導も行っており、詳細な情報を提供することにも繋がっているため、今後も継続してタイムリーな情報を提供し、誘客に繋げていく。							
観光の育成に向けた取り組み	◆核となる観光拠点の形成	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	1-1. ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト 【道の駅やす込(人)】	目標値	－	289,000	292,000	295,000	298,000	1,174,000	B	老朽化した箇所を随時更新。令和3年度末に駐車場及びレンタサイクル施設を整備した。令和5年度に道の駅館内のMAP看板や誘導看板を設置し来店客の館内及び公園への動線を確保した。ユニバーサルビーチを実施し、障害者のある方の受入に取り組んだ。
		実績値	－	268,617	256,235	293,446	289,096	1,107,394		
		達成(評価)	－	B	B	B	B		94%	
	【実施主体】 株式会社ヤ・シィ 高知県 香南市 【連携する分野】	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止や縮小開催などが入込客数に影響したが、令和4年度にはイベントの再開などにより入込客数が回復し、令和5年度においてもほぼ維持されている。令和4年度からレンタサイクル事業を開始し、香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンに参加などして誘客に努めたが、目標には達していない。入込客数の増加に向けては、空き店舗の解消や道の駅部分だけでなく、ヤ・シィパーク全体として取組を進めるため、県と協議しながら継続して取組を行う。							
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)
	1-2. ヤ・シィパークを核とした地域の活性化促進プロジェクト (mana＊mana) 【売上高(千円)】	目標値	52,578	54,611	55,030	55,448	55,867	220,956	C	人員募集、商談会やイベント出店、週替わりランチの開始、SNSでの情報発信を強化した。
	(R2) 売上高 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	実績値	26,868	18,171	22,372	21,680	22,308	84,531		
		達成(評価)	C	C	C	C	C		38%	
	【実施主体】 株式会社ヤ・シィ 高知県 香南市 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.11 ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の促進	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 出店や販路拡大に向けた商談会の取り組みを行い、新たな販路も得たが人員体制に課題があり、大量注文への対応が難しいときもあった。令和5年度より人員配置を変更し、SNSを活用した情報発信や新メニュー、週替わりランチなど誘客に繋がる取り組みを強化した。今後も人員体制を整え、作業の効率化に取り組む、需要に応えられるように事業を進める必要がある。							

戦略の柱

◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)		
事業名称	目標値							A/B/C			
○具体的な取組	実績値										
観光の育成に向けた取り組み		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
	2. 三宝山エリア活性化促進プロジェクト [地域と連携した高知県産ワインのブランド化促進事業]【千円】	目標値	－	醸造所建設	醸造開始	37,132	59,122	96,254	A	令和4年4月29日にオープン。他事業者と連携した商品づくりの取組を行っている。また、イベントなどに店舗し販売促進を実施している。各種コンクールで入賞し、ブランド確立に繋がっている。	
		実績値	－	醸造所完成	醸造開始	71,735	66,638	138,373			
		達成(評価)	－	A	A	A	A				144%
	【実施主体】 井上ワイナリー株式会社 井上石灰工業 株式会社 高知県 香南市	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 計画通りに事業が進んでいる。令和4年度は醸造所オープン話題性もあり、多くの方が訪れたため、売上高は目標値を大幅に上回る結果となり、令和5年度は低下したが、目標値は達成した。令和5年度には、様々なワインコンクールで入賞するなどブランドとして確立してきている。圃場拡大や醸造所への観光客誘客の仕組み作りが課題となっており、周辺観光施設と連携した取り組みによる誘客促進が必要である。								
	【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.9 高知県産ワインの生産拡大 及び ブランド化の推進										
	◆ 広域観光の推進										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
	1. 物部川エリア観光連携事業 【対象9施設入込客数(人)】※年度	目標値	711,000	777,000	815,000	855,750	898,600	3,346,350	B	各種商談会、イベント出店へ参加し、旅行商品造成販売・物販販売や物部川エリアの観光PRを実施。ものべがわフェスタ、ものべおしごと体験博、ものべ旅クーポン等を主催。	
実績値		707,185	460,082	578,536	723,699	732,323	2,494,640				
達成(評価)		B	C	B	B	B		75%			
【実施主体】 (一社)物部川IDMO協議会 高知県 (一社)香南市観光協会 香南市	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 新型コロナウイルス感染症の影響により、ものべがわフェスタの中止などがあったものの各種商談会への参加や変化するニーズに応じたプランの提案、視察の受入、オンラインイベントの開催などに取り組んだ。ものべ旅クーポン等、閑散期の誘客に寄与する取組を積極的に行っており、目標値は達成できていないものの、徐々に入込客数を伸ばしている。令和7年度には連続テレビ小説「あんぱん」放送が決定され、物部川エリアでの観光博覧会事務局となったことから、各事業所と連携した周遊促進、観光客の増加に寄与する取組を連携して行っていく必要がある。									
【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.18 物部川地域における広域観光の推進											
◆ スポーツツーリズムの推進											
	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)		
1. サイクルイベントの開催 【サイクルイベント参加者数(人)】	目標値	－	580	780	850	920	3,130	C	健康サイクリング、タンデム自転車講習会の実施。ヤ・シシクロクロスカップの支援。サイクルモード大阪にて、パンフレット配布。		
	実績値	－	106	135	204	300	745				
	達成(評価)	－	C	C	C	C				24%	
【実施主体】(自転車) (一社)香南市観光協会 (一社)物部川IDMO協議会 高知県シクロクロス実行委員会 土佐くろしお鉄道 香美市 南国市 香南市	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 令和3年度に香南市自転車活用推進計画が完成し、取組を進めてきた。しかしながら、当初予定した実施主体団体の解散により、サイクルイベント参加者数にカウントされるイベントが開催に至らなかったことや新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止、雨天中止などにより、目標値には届かなかった。健康サイクリングでは参加者の固定化や市単体でのイベント開催の限界もあることから、実施内容や協力体制を改善し、関係機関との連携により、サイクルイベントへの参加者を増やす必要がある。									
【連携する分野】 香南市自転車活用推進計画 県 物部川アクションプラン NO.21 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進											

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
	事業名称	目標値							A/B/C		
	○具体的な取組	実績値									
観光の育成に向けた取り組み		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
	2. 塩の道を活用したイベントの開催 【塩の道を活用したイベント 参加者数(人)】	目標値	500	440	450	460	470	1820	C	土佐塩の道うおーくは開催時期を変更し、気候の良い4月開催とし、20kmコースを追加した。トレイルランニングレースは令和5年度より夜須町の塩の道を活用したレースに変更し、ルート整備を行った。	
	(R2) イベント参加者数 ①トレイルランニングレース ②30kmうおーく	実績値	595	182	97	346	307	932			
	(R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	達成(評価)	A	C	C	B	B				51%
	【実施主体】 (一社) 香南市観光協会 土佐塩の道保存会 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.21 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止や縮小があり、目標値を達成することはできなかった。土佐塩の道うおーくは、新たに20kmコースを追加し、より幅広い参加者の取込みを図った。30kmうおーくは、運営側の高齢化や参加者の管理上では125名が受入の限界で、塩の道うおーくでの参加者増は難しい。トレイルランニングレースについては、令和5年度より香南市観光協会主催で夜須町の塩の道を活用した内容に変更した。ヤ・シバパークを拠点とした開催であることから、それぞれの拠点での観光振興の寄与となった。								
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
	3. マリンスポーツの推進 【大会参加者数 + マリン体験の参加者数(人)】	目標値	－	230	240	240	260	970	B	マリン体験やヨット大会等を実施。	
	(R2) 参加者数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	実績値	－	174	185	247	142	748			
		達成(評価)	－	B	B	A	C				77%
	【実施主体】 NPO法人YASU海の駅クラブ 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.21 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取組の推進	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、県内からの利用が増え、令和4年度は目標値を達成できた。しかしながら、受入側の人員体制が整わず、令和5年度は、個別のマリン体験の受け入れが十分にできなかった。観光客の受入には人員体制が整うまでは難しいため、観光客への案内はできない状態である。								
受入体制の強化	◆おもてなしの向上	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
	1. 香南市案内人会の拡充 【案内人会会員数(人)】	目標値	26 (延べ)	26 (延べ)	28 (延べ)	30 (延べ)	32 (延べ)	32	C	依頼に応じたガイドを実施。	
	(R2) 会員数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	実績値	23	24	22	21	19	19			
		達成(評価)	B	B	B	B	C				59%
	【実施主体】 香南市案内人会 【連携する分野】－	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 新型コロナウイルス感染症の影響により、研修など積極的に行うことができなかった。また、会員の高齢化によりガイドが難しく、引退する会員が出たため、減少となった。連続テレビ小説「らんまん」に合わせて、香南市周遊花めぐりバスのガイドを務め、乗客からは好評であった。地域の魅力を伝え、リピーターになってもらうためには、ガイドの役割が非常に重要である。今後も継続した活動を実施できるよう、会員数の増加やガイド技術向上など取組を支援していく必要がある。								
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)	
	2. 外国人観光客受入研修の実施 【参加事業者数】 ※ R6年度末累計 50事業者	目標値	5	10	10	10	10	40	A	「今行うべき外国人観光客受入れ準備」「インバウンド向け効果的なSNS」「英語初級、中級、中国語の実践的な研修」、「アプリを用いた翻訳を活用」、「外国人文化理解」を実施。	
		実績値	3	－	15	24	14	53			
		達成(評価)	B	－	A	A	A				133%
	【実施主体】 香南市 (一社)物部川IDMO協議会 【連携する分野】－	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は開催が見送られたものの、令和3年度から実施し、令和4年度においては、観光庁の補助金を活用して2回開催できたことから、目標値を達成した。特に令和4年度の中で紹介された翻訳アプリはその後、事業所で活用されていることを確認し、回復傾向にある外国人観光客の受入に寄与している。今後も増加が見込まれる外国人観光客の受入体制の強化に向けた取組を継続し、満足度の向上や消費拡大に繋げていく必要がある。								
	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	計(C)	4年間の達成 (達成度合)	【4年間の取り組み内容】(D)		
3. アンケート調査の実施 (観光地点パラメータ調査)	目標値	－	調査	調査	調査	調査	4	A	観光施設、宿泊施設へのアンケート調査協力を依頼、実施。道の駅やイベント会場などでの対面アンケートを実施。		
(R2) 調査実施 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	実績値	－	実施	実施	実施	実施	4				
	達成(評価)	－	A	A	A	A				100%	
【実施主体】 香南市 (一社)物部川IDMO協議会 【連携する分野】－	精査 (C)	【4年間の取組精査】(第2期精査) 物部川エリア3市を訪れた観光客を対象としたアンケート調査を実施。旅行者のニーズ等を把握し、観光施設に共有することで、満足度の向上や入込客数の増加に努めた。									